



特集

この秋、堪能したい 広島を映し出す 文学 × 映画

原作は市立図書館で
借りることができます

今回紹介する5作品は、原作本を市立図書館(右下コード)で借りることができる作品の中で、次の4つの観点から選びました。



- 映画を映像文化ライブラリー(下記)のビデオコーナーで視聴できる(2作品。作品名横に㊦のマーク)
- テーマが今年のニュースなどで関心を集めた(1作品。同㊦)
- 広島フィルム・コミッション(下記)



広島市映像文化ライブラリー

1982年開館。広島にゆかりのある作品や平和をテーマにした作品など約750点を所蔵。鑑賞会などを開催しているほか、ビデオコーナーでの視聴もできる。

ビデオコーナーでの視聴は30分につき100円
☎223-3525、☎228-0312



がロケ地誘致などで支援した(3作品。同㊦)

●映画が今年公開された(1作品。同㊦)

動画配信サービスや レンタルビデオ店でも

映画作品は、定額の動画配信サービスやお近くのレンタルビデオ店で借りて視聴することもできます。

コロナ禍の秋、読書や映画鑑賞で、広島の魅力を再発見してみたいかがでしょう。



広島フィルム・コミッション

2002年設立。映画、テレビドラマ、CMなどあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進める支援を行っている。これまでに国内外約2,600件の制作支援の実績がある。今回紹介の下記3作品は撮影秘話も。

☎554-1811、☎554-1815

青葉学園物語 ㊦

原作：吉本直志郎 出版年：1978～1981年(ポプラ社)

監督：大澤豊 公開年：1981年



原爆で家族を亡くした子どもたちが生活する青葉学園。昭和28年の広島で、ガキ大将の和彦をリーダーとするわんぱく6人組を中心に、はつらつと生きる子どもたちの姿を描く。原作は、著者が11歳から18歳までを過ごした「広島戦災児育成所」の出来事を描いた全5冊のシリーズ。「右向け、左!」は第1作目。

父と暮せば ㊦㊦

原作：井上ひさし 出版年：1998年(新潮社)

監督：黒木和雄 公開年：2004年

被爆から3年後の広島、図書館に勤める美津江は、生き残ったことに負い目を感じ、恋愛からも遠ざかろうとしていた。そんな美津江の前に父の幽霊が現れ、あの手この手で娘の恋を成就させようとする…。



©2004「父と暮せば」パートナーズ

広島フィルム・コミッション 撮影秘話

原爆ドームの世界遺産登録後、ドーム内で初めてクレーン撮影が行われた作品。7時間にわたる撮影が、出来上がった映画では10秒ほどのシーンとなっており、映画撮影のこだわりや、秒単価の高さを感じられます。

なぎ 夕風の街 桜の国 ㊦

原作：こうの史代 出版年：2004年(双葉社)

監督：佐々部清 公開年：2007年

男性から愛の告白をされながらも、幸せと思うことに負い目を感じ、原爆症で逝ってしまう皆実を描いた「夕風の街」。皆実の姪にあたる七波が広島を訪れ、母や皆実の人生に思いを巡らす「桜の国」。原作漫画を基に、受け継がれていくヒロシマの記憶を描く。



©2007「夕風の街 桜の国」製作委員会

広島フィルム・コミッション 撮影秘話

原爆の子の像の前で、合唱する修学旅行の小学生たちに遭遇した監督やスタッフが感激して泣き出したことがありました。また、この映画をきっかけに、ロケ地となったポップラ通り(基町環境護岸)で川辺の野外上映会がスタート。夏の風物詩になっています。

黒い雨 ㊦

原作：井伏鱒二 出版年：1966年(新潮社)

監督：今村昌平 公開年：1989年

広島県東部に暮らす閑間重松は、黒い雨を浴びた姪の矢須子の縁談をまとめようとしていたが、被爆した隣人が相次いで亡くなり、病魔は矢須子の体にも忍び寄り…。原爆がもたらす悲劇を静かな語り口で伝える。



©株式会社今村プロダクション

ドライブ・マイ・カー ㊦㊦

原作：村上春樹 出版年：2014年(「女のいない男たち」に収録)(文藝春秋)

監督：濱口竜介 公開年：2021年



©2021「ドライブ・マイ・カー」製作委員会

広島フィルム・コミッション 撮影秘話

役者たちが野外稽古を行うシーンは平和記念公園で撮影されました。瞬間、奇跡的な日射しに包まれ、柔らかな秋の光が印象的なシーンとなりました。その時に同公園で集めた落ち葉がクライマックスの劇場の舞台に敷き詰められています。

女のいない男たち 村上春樹



妻の突然の死に、喪失感と妻の残した秘密に苛まれていた演出家で俳優の夫。演劇祭が行われる広島で専属ドライバーと過ごすうちに、これまで目を背けていたことに気付いていく。第74回カンヌ国際映画祭で日本映画初の脚本賞を受賞。平和記念公園、中工場など市内各地で撮影。デジタルロケ地マップはフィルム・コミッションホームページで。



平和文化月間のイベント(1㊦関連)

市は、「世界に輝く平和のまち」の実現に向けて、平和への思いを共有する文化が市民社会に根付くよう、毎年11月を平和文化月間と定めました。さまざまなイベントを集中的に開催します。

岡平和文化月間については、平和推進課(☎242-7831、☎242-7452)、イベントについて詳しくは、平和文化センターのホームページ(右コード)で

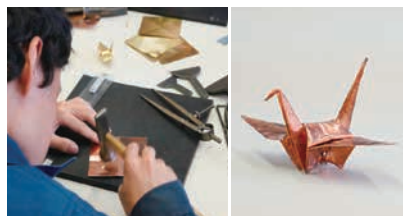


市民平和文化イベント

- つなぐ平和への思い、未来へ -

若い世代や市民団体が主体となり、音楽や演劇などのステージ発表や日頃の活動成果などの展示発表により、平和への思いを発信、共有します。

当日は、平和創作劇I PRAYのパフォーマンスや「銅板の折り鶴」の制作実演などを行います。



市立工業高等学校の生徒が制作に取り組んでいる「銅板の折り鶴」

㊦11月3日(祝)10:00～16:00
国際会議場グリア
㊦ステージ発表/13:00から

展示発表/10:00から
岡平和文化センター平和市民連
帯課(☎242-8872、☎242-7452)

被爆ピアノコンサート

原爆犠牲者への慰霊と追悼をし、平和の尊さを考える被爆ピアノコンサートをインターネットで配信します。

広島にゆかりのある演奏家が被爆ピアノと共に平和を奏でます。



㊦11月13日(土)18:00から配信開始(YouTubeで配信)

出演ピアノ：新宅雅和、吉川絢子、二胡：姜曉艷、ソプラノ：中川詩歩



平和記念公園レストハウスに常設されている被爆ピアノ

特別ゲストジャズピアニスト：大林武司、シンガーソングライター：二階堂和美
岡平和文化センター平和市民連帯課(☎242-8872、☎242-7452)

爆心地鎮魂新能

原爆ドーム世界遺産登録25周年の記念事業として、被爆以前まで原爆ドーム周辺に根付き、地域住人に親しまれていた「能楽」をドームを背景に上演します。

当日はインターネットで配信します。



㊦11月15日(月)18:00～20:00
(YouTubeで配信。雨天順延)
演能者喜多流能楽師 ほか

演目「高砂」「羽衣」
岡実行委員会事務局(㈱ステージユニオン内)(☎090-5708-0873)



みんなで伝え合おうヒロシマ・ナガサキ - 広島のを -

広島と長崎の市民団体、広島の児童・生徒が出演し、被爆体験などの朗読や歌唱を行います。この取り組みは一昨年から長崎で始まり、広島からも発信しようと市内の朗読グループなどが集結しました。

㊦11月20日(土)12:30～18:30
岡平和記念資料館メモリアルホール



被爆体験記、原爆をテーマとした朗読劇、歌唱など
岡実行委員会事務局(☎090-4892-4864)